まもる通信 vol.21 2019年4月

ともに創ろう 明日の袋井 地域の未来

いいます 提案　やります 実行　みせます 実績

発行／袋井市議会議員　寺田　守
袋井市久能1810-11　TEL&FAX:0538(44)1351
mamorut@yr.tnc.ne.jp　http://www.mamoru-t.net

令和元年 スポーツドリームが始まる

新年度がスタートしました。平成から令和へ、新しい元号の始まりの年ともなりました。来たる時代への期待を込めつつ、これからの市民生活が平和と安定、活力に満ちた持続可能なものになることを願わずにはおられません。

■今年度の予算

今年度の袋井市の予算は、一般会計339億6千万円、特別会計168億5千万円、企業会計46億1千万円で、全体では554億2千万円、前年度予算対比3.4%の伸び率となっています。特徴的なものをみると、歳入では、市税が景気を反映して2.4%の増。歳出では、子どものための教育・保育給付費などの増加で扶助費が7.1%増、防災センターや総合体育館整備事業などの投資的経費で9.3%増、消費税増に伴う緩和対策などで物件費が13.4%増となっています。厳しい予算ですが、将来を見据えた財政運用が求められるところです。

■2019ラグビーワールドカップ

▲愛野駅北口に設置されたラグビーWCモニュメント。

◎ワールドカップ2019　エコパスタジアム対戦カード

9月28日(土)	16:15～	日本	VS	アイルランド
10月 4日(金)	18:45～	南アフリカ	VS	イタリア
10月 9日(水)	16:15～	スコットランド	VS	ロシア
10月11日(金)	19:15～	オーストラリア	VS	ジョージア

いよいよ始まるラグビーワールドカップ、エコパスタジアムでは、9月28日(土)の日本VSアイルランド戦を皮切りに合計4つの試合が計画されています。「4年に1度じゃない。一生に一度だ。」を合言葉に大会気運が盛り上がってきています。

試合当日は世界中から多くの観光客が集まって来ることでしょう。愛野駅からエコパまでの道路には「おもてなしゾーン」が設けられ、袋井産農産物の販売など賑やかな歓迎ムードが演出されます。試合会場への入場は勿論ですが、会場間近で世界のラグビーの雰囲気を味会うことも楽しみです。

▲今年12月の仮オープンを目指して工事が進められている新総合体育館。

■2020東京オリンピックへ

今回のラグビーワールドカップは、翌年の東京オリンピックへと続く「スポーツドリーム」のスタートでもあります。ラグビーで対戦するアイルランドは、オリンピック事前キャンプを袋井におくことになりました。これを機に、市民レベルでの交流が深まることも期待されます。

「スポーツは人を元気にする」とも言われています。建設中の総合体育館の愛称も「さわやかアリーナ袋井」と決定し、12月には仮オープンし、翌年4月には供用開始となります。この体育館には、子ども広場やキッズルーム、ウォーキングコース、トレーニング室、コーヒーショップなども整備され、子どもから年配者まで幅広い世代の健康づくりや交流など、スポーツ文化の拠点になることが期待されています。

▲来年3月完成予定の袋井駅前。
(仮称)新産業会館完成のイメージ図

◀袋井駅前(仮称)新産業会館新築工事の起工式が関係者を集めて開催された。
(平成31年3月25日)

■袋井が輝く年に

JR袋井駅北口活性化の切り札として、永年待ち望まれていたホテル建設が着工の日を迎えました。建設場所は、駐輪・駐車場のある袋井駅北口市有地。ここに地上8階建て、客室数118室の複合ビルが建設され、袋井商工会議所、コンベンションホール、商業テナントが入ることになっています。完成は来年の3月、オリンピックの年に間に合わせるよう開業されます。

振り返ってみた時、確かにあの時に変わったという「時代の節目」があるものです。世界中から多くの旅行客が袋井を目指します。また、今や4000人を超す外国人が住んでいるこのまちです。世界に向かって開かれたまちとして、新しい時代が始まるものと思います。今年度が、新しいまちづくりの始まりの年であったと記憶される年にしたいものです。

文化・歴史、まちづくり

1 久野城址保存会創立40周年

久野城址保存会が発足してから40周年になるのを記念し、昨年10月28日「月見の里学遊館」にて式典、講演会が開催されました。講演会では、落語家の春風亭昇太さん、滋賀県立大学の中井均教授、地元の加藤理文先生をお招きし、トークショーが行われ、久野城址の魅力を楽しく、分かりやすくお話ししていただきました。

▶久野城址の桜、本丸部分の雑木が整理され、見晴らしが良くなった。今後数年かけて木の伐採を計画している。

2 浅羽佐喜太郎公碑建立100年記念式典

浅羽佐喜太郎公紀念碑が建立されてから100年になるのを記念し、昨年9月22日、碑のある常林寺、メロープラザにて式典が開催されました。この式典には、浅羽家ご子孫が出席し、ベトナムからもファン家のご子孫や、ファン・ボイ・チャウの生誕地であるベトナム・ゲアン省からもレ・クアン・ダイ省副委員長など要人が出席し、日越友好100年を祝いました。

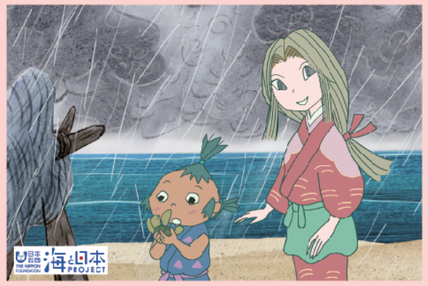
紀念碑建立100年を記念した記念碑が袋井駅前に建立され、除幕式が行われた。銘板には「ファン・ボイ・チャウゆかりの地 袋井市」と日本語とベトナム語で表記されている。
(2019年3月16日)

3 海ノ民話のまちに「亀の松」が認定

日本各地の海にまつわる民話を紹介している日本財団の「海の民話のまちプロジェクト」で、市内西同笠地区にある「亀の松」が「海ノ民話」に選ばれました。今年は初年度で全国5つのまちから5作品が選ばれ、アニメーション化して次代に継承する取り組みを行っていく。

亀の松の伝承

江戸時代後期の浅羽海岸が舞台。ある男の妻と息子が高波にさらわれ行方不明になった。男が寝ていると枕元に女性が現れ、海岸に行くよう案内された。海辺に行くと亀が死んでおり、傍で息子が見つかった。男は妻が亀に姿を変えて息子を連れ戻したと思い、妻を弔うため松の木を植えた。



4 市内の万葉歌碑3点

新元号が令和になったことから、出典のもととなった万葉集にも注目が集まりました。万葉集には天皇から無名の民衆までの歌4500余首が収められていると言われていますが、市内にも3つの歌碑が建てられています。いずれも古の人々の心が歌われており、今の私たちにも語りかけてくるのもがあります。

紅の　浅葉の野良に　刈る草の
束の間も　吾を忘らすな

◎若者の恋心を歌ったもの。草を刈る間も私を忘れないでと、純情一途な思いが伝わってくる。
【浅羽図書入口に建立】

浅葉野に　立ち神さぶる　菅の根の
ねもころ誰がゆゑ　我が恋ひなくに

◎浅羽の野に枯れさびて立っている菅の根のように、かくれてせつなくあなたへの思いで一杯である、同じく若者の恋心を歌ったもの。【梅山・八幡神社】

時時の　花は咲けども　何すれぞ
母とふ花の　咲きず出来ずけむ

遠江　白羽の磯と　費の浦と
あいてしあらば　言も通はむ

◎両2首は、いずれも防人の歌。遠く出征した民が離れ離れになった家族を想う気持ちを歌っている。
【袋井中学校正門近くに建立】